



ユニセフ「子どもの権利」 学校アンケート

令和6年度 募集要項
(令和7年1~3月実施)

(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部

TEL 03-5789-2014 Eメール se-jcu@unicef.or.jp



unicef 

はじめに

「子どもの権利条約」批准30周年の節目を迎えた日本では、「こども基本法」「こども大綱」の成立や生徒指導提要の改訂などを背景に、学校においても「子どもの権利」を推進する取り組みが求められています。

さて、学校において「子どもの権利」を推進していくとは、どのようなことでしょうか？「子どもの権利条約」を読んだことがあるという先生方も、それを具体的に思い描くことは難しいかもしれません。

そこで、当協会は昨年度、学校での子どもたちの生活を「子どもの権利」の視点から評価することができる“ユニセフ「子どもの権利」学校アンケート”を作成、5自治体の教育委員会や校長会などのご協力のもと、令和6年1～3月にパイロット調査を実施し、計81の小学校・中学校から13,573件の回答が寄せられました。

パイロット調査で使用したアンケートは、「生徒指導提要」の執筆にも参加された兵庫県立大学の竹内和雄教授の協力を得て、ユニセフ本部が作成したChild Rights Education:子どもの権利を大切にす教育(CRE)ツールの中で提示された6分野(「体の健康」「心の健康」「学校での学び」「安心な環境」「意見表明」「子どもの権利」)の質問項目を日本の学校向けに改訂したものです。アンケートへの回答を通じて、先生方に、学校で「子どもの権利」を守るとはどういうことか具体的なイメージを持っていただくという効果も期待しました。

児童・生徒と教員が同じアンケートに答える形を取り、質問の分野や学年によって回答に有意な差が生まれるか、児童・生徒と教員との間でも何らかの差が生じるか等を視点としました。結果を分析した結果、児童・生徒、教員の間にも有意な差が出ている分野があること等が明らかとなり、課題を見つける効果もあることが分かりました。

※結果報告はこちら→<https://www.unicef.or.jp/news/2024/0094.html>

今回、学校における「子どもの権利」推進に関わる様々な活動のベースとして活動の継続評価に役立てること、さらに全国の学校における「子どもの権利」推進の現状を知る一助とすることを目的として、パイロット調査の結果を踏まえて本アンケート調査を継続実施することとし、本年度の調査にご参加いただける自治体・学校を募集いたします。

なお、本調査は、学校・自治体間の比較や外部評価を目的としたものではなく、あくまでご参加いただく自治体の子ども施策や各学校での「子どもの権利を大切にす教育」のお取り組みにお役立ていただくことを目的としております。また、お寄せいただいたアンケート結果は、「子どもの権利」の推進を目的とする当協会のアドボカシー・教育事業に役立てさせていただきます。

参加方法、調査の実施形態については、「実施要項」をご参照ください。

Googleフォームを使用したアンケートフォームの作成や結果の集計などは日本ユニセフ協会が行います。学校では自治体や学校に提供される二次元コードを先生・児童/生徒の皆さまにご配布/ご配信いただき、回答を促すご協力をお願いできればと存じます。必要に応じて、チラシデータなども作成いたします。

昨年度のパイロット調査にご参加いただいた自治体・学校をはじめ、全国の自治体や学校の皆さまに広くご参加いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度

ユニセフ「子どもの権利」学校アンケート 実施要項

- 主催：公益財団法人 日本ユニセフ協会 学校事業部
〒108-8607 東京都港区高輪 4-6-12 TEL:03-5789-2014
Eメール: se-jcu@unicef.or.jp
- 調査監修協力：兵庫県立大学 竹内 和雄 教授
- 実施時期：令和7年1月～3月
- 対象：
国内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員、および、児童・生徒
※ おおむね小学4年生以上を想定していますが、参加する学年については質問票をご参照のうえ、学校でご判断ください。全員の参加でも一部の参加でも構いません。ただし、必ず教員と子どもの双方が参加するようにお願いいたします。
- 実施方法：
日本ユニセフ協会が提供する Google フォームにて、参加教員および児童・生徒が質問票に回答
※ 質問回答用のフォームは、参加自治体、あるいは、参加校ごとに作成されます
※ 教員、児童・生徒ともに同じ質問項目に回答します
※ 匿名での回答です。個人情報などは一切特定されません。
- 参加・実施の流れ：
 - ① 参加を希望する自治体・学校は、(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部 宛にご連絡ください。
Eメール:se-jcu@unicef.or.jp TEL:03-5789-2014 FAX:03-5789-2034
※ タイトルに「ユニセフ「子どもの権利」学校アンケート参加希望」と記載のうえ、自治体/学校名、ご担当者やご連絡先に関する情報をご連絡ください。
 - ② 質問回答用の Google フォームの URL をメールにてお送りします。自治体でのご参加の場合は、各学校へ実施趣旨や参加方法をご周知ください。
 - ③ 各校にて、都合の良いタイミングでアンケート URL や二次元コードを教員および児童・生徒の皆さんに配布、回答を指示してください(回答期限:令和7年3月31日)
 - ※ URL告知用に簡易なチラシのデータ作成も可能ですのでご相談ください。
 - ※ 実施期間以外での実施を希望される学校や自治体があればご相談ください。
 - ※ 質問を加えるなどのご希望がある場合もご相談ください。
- 結果の共有について：
参加された自治体・学校ごとに結果をお伝えいたします。(属性ごとに集計)
全体の調査結果については公表予定ですが、学校や自治体ごとの結果は公表いたしません。
全体および各自治体の結果を竹内和雄先生が分析されます。自治体には、分析結果もお伝えいたします。

● アンケートの質問項目

【体の健康】

- ① 学校は運動しやすく、子どもは思いきり体を動かせる
- ② 学校では、健康の大切さを学ぶ機会があり、よくわかっている

【心の健康】

- ① 子どもは、学校で強いストレスを感じることはない
- ② 学校には、こまったときに安心して相談しやすいおとながいつもいる

【学校での学び】

- ① 学校で、子どもたちは自分の可能性をのばすことができる
- ② 勉強がわからないときは、先生たちがわかるまで教えてくれる

【安心な環境】

- ① 先生たちと子どもたちは、おたがいをじゅうぶんに尊重しあっている
- ② いじめなどが起きたとき、学校はすぐに子どもに寄りそい、助けてくれる

【意見表明】

- ① 子どもたちは、学校生活について意見が言いやすく、学校はよく受けとめてくれる
- ② 学校では、子どもが中心になって活動する場面がよくあり、先生も協力してくれる

【子どもの権利】

- ① 先生たちは「子どもの権利条約」をよく理解していて、子どもの権利を大切にしている
- ② 子どもは、学校で「子どもの権利」を学ぶ機会があり、たがいの権利を大切にしている

各質問に1(そう思わない)～4(そう思う)までの4段階の度合いで回答します。

子どもたちは自分や自分の学校について考えながら答えます。先生方はご自身の学校の子どもの生活を思い浮かべてご回答いただきます。

上記の質問項目のほか、学校名(自治体での参加の場合)、教員・児童/生徒の別、学年(子どもの場合)、性別をご回答いただきます。